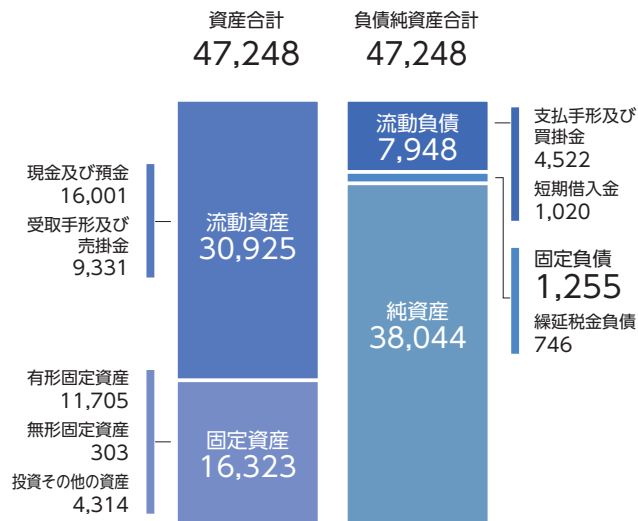
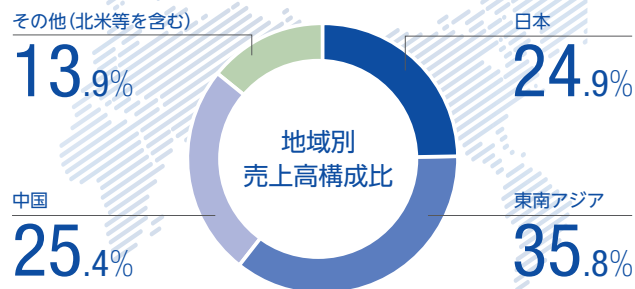


資産の状況

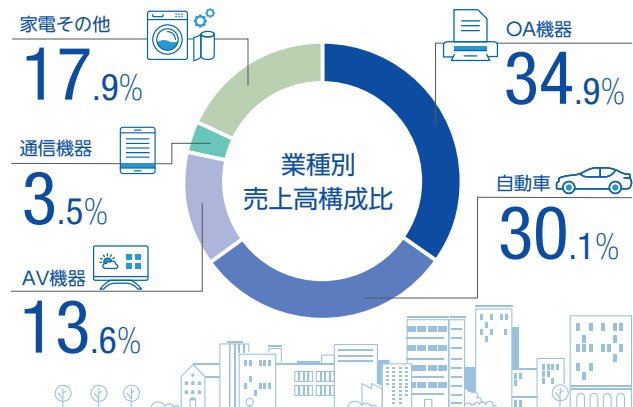
(単位：百万円)



地域別売上高構成比



業種別売上高構成比



会社情報／株式情報

(2025年6月30日現在)

会社の概要

社 名 千代田インテグレ株式会社
 設 立 1955年9月
 本 社 所 在 地 〒102-0084 東京都千代田区二番町 1-1
 資 本 金 23億3,156万円
 従 業 員 数 234名(グループ総計 2,865名)

株式の状況

発行可能株式総数/発行済株式総数 32,600,000株/11,628,929株
 株 主 数 3,525名

株主メモ

事 業 年 度 1月1日から12月31日まで
 剰余金の配当の基準日 12月31日
 定 時 株 主 総 会 3月
 単 元 株 式 数 100株
 公 告 方 法 電子公告
 ただし、事故その他やむを得ない事由により
 電子公告による公告をすることができない場合
 は、日本経済新聞に掲載いたします。
 公告掲載 URL <https://www.chiyoda-i.co.jp/>

株 主 名 簿 管 理 人 / 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 郵 便 物 送 付 先 / 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 電 話 照 会 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-232-711(通話料無料)

株式事務に関するご案内

お手続き内容	お問い合わせ先
○住所・氏名等のご変更 ○単元未満株式の買取請求 ○配当金の受領方法のご指定	口座を開設されている証券会社へ お問い合わせください。
○未受領の配当金のご照会 ○郵送物等の発送と返戻 ○その他一般的な株式事務 ○特別口座	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 までお問い合わせください。 0120-232-711(通話料無料)



当社 ウェブサイトのご案内
 事業内容やIR情報などをご覧いただけます。

<https://www.chiyoda-i.co.jp/>



CHIYODA INTEGRE CO.,LTD.

第70期

中間報告書

2025年1月1日～2025年6月30日



千代田インテグレ株式会社
 証券コード：6915



中間連結会計期間の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、トランプ政権による関税政策に伴う貿易環境の不安定化による各国経済への影響だけでなく、中東情勢の緊迫化などによる地政学的リスクの高まりにより、先行きが不透明な状況が続きました。米国では、減税や規制緩和の展開だけでなく、国内外からの受注が増えたことを背景に生産活動が拡大し、雇用環境も改善するなど、景気は堅調に推移しました。中国では、政策効果により内需には持ち直しの兆しが見られたものの、対米輸出の大幅な減少により、景気は依然として弱含みの状況となりました。他のアジア地域では、各国の景気刺激策などが内需を下支えし、堅調に推移しました。一方で、外需が米国の関税措置の影響を受け、輸出の伸びが鈍化しました。

また、我が国経済は、物価上昇の影響により消費者心理は慎重なまま推移し、製造業においては設備投資の抑制や延期が見られたものの、雇用・所得環境の改善が続いており、緩やかな回復基調を維持しました。

このような経営環境の中で、中期経営計画で「高付加価値ビジネスの拡大」を掲げ、持続的な成長のために収益力の強化を図るべく事業活動を推進してまいりました。

売上高

18,314 百万円

前年同期 20,367 百万円

前年同期比

10.1% ▼

営業利益

1,377 百万円

前年同期 1,636 百万円

前年同期比

15.8% ▼

経常利益

1,438 百万円

前年同期 2,146 百万円

前年同期比

33.0% ▼

親会社株主に帰属する
中間純利益

802 百万円

前年同期 1,520 百万円

前年同期比

47.2% ▼



ベトナム・ハノイ

HANOI

名 称	CHIYODA INTEGR VIETNAM CO., LTD.
設 立	2003年10月
所 在 地	C-4, Thang Long Industrial Park, Thien Loc Commune, Hanoi City, Vietnam



拠点紹介

当社グループのベトナム現地法人は、昨年10月に創立20周年を迎えました。ベトナムの首都ハノイとノイバイ国際空港の中間という好立地に位置し、交通の利便性や人材確保に優れた環境にあります。海外からの注目がまだ少なかった20年前にいち早く進出し、現在では多国籍企業が集まる東南アジア有数の工業集積地へと発展いたしました。当社グループも地域の発展とともに成長を続けています。

事業の拡大に向けて

多様化する顧客ニーズに対応するため、当工場では自動プレス・自動検査・自動梱包など、早期から工程の自動化を推進してまいりました。これは生産効率の向上と品質の安定を図ると同時に、「信頼される企業」を目指すものです。今後も設備投資と人材育成を通じて、柔軟性と競争力を兼ね備えた生産体制を強化し、グローバル市場での事業拡大を加速してまいります。

地域との信頼関係こそ、採用競争力の源泉

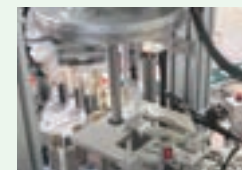
旧正月前の寒さが厳しい時期に、日頃から人材面で支えてくださる近隣地域への感謝の気持ちを込めて、隣接する村の幼稚園・小学校の児童への奨学金や生活に困っている世帯への支援金を、近隣企業様と協力して継続的に提供しています。企業活動は社員の力によって支えられているからこそ、地域への感謝を具体的な形にすることで、長期的な人材確保と地域との信頼関係の構築に結びついています。



CLOSE UP

生産革新交流会の開催

本年5月23日に、当社グループ各工場の製造系スタッフが参画する生産革新交流会を開催いたしました。この交流



会は10年以上前に、各工場のスタッフが独自開発した技術を「他の工場に自慢する」という趣旨で始まり、当初は単なる工程改善の内容だったものが、自動化・省人化の技術確立というプロセスを経

て、現在では工場発信で高い付加価値を創り出し、新ビジネスの拡大に繋げるという流れができています。

今回の発表では、クルマの知能化で標準搭載が進むヘッドアップディスプレイや医療用キットのユニット組立に関する技術開発が注目を集めました。

これらの技術は、当社グループの市場拡大に寄与することが期待できるため、今後は真の生産革新を目指して、①ポテンシャルの有る市場への進出、②技術的優位性を活かした市場攻略、③高付加価値の創出を目標に、世界中の工場での技術開発サイクルの高速化に取り組んでまいります。

DE&I (LGBTQ+) 研修の実施

～多様性を尊重し、誰もが働きやすい職場を目指して～

本年6月に当社では役員及び管理職を対象に「DE&I (ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン) 研修」を実施いたしました。今回の研修では、外部講師をお招きし、LGBTQ+を含む多様性に関する基礎知識の習得と、職場における配慮事項について学ぶ機会となりました。

研修の目的

- DE & I の基本的な考え方の理解
- LGBTQ+に関する正しい知識の習得
- 職場での配慮ポイントの共有
- 無意識のハラスメントの防止



当社グループは、一人ひとりが多様性を尊重し、思いやりのある行動を心がけることで、より良い職場環境の実現を目指してまいります。

株主還元について —DOEの導入—

中期経営計画(2025-2027)において、株主還元策として新たにDOE(純資産配当率)を導入し、4.0%を目標といたしました。併せて、総還元性向につきましては120%を目標としてまいります。